



佛事の常識・非常識



Q:通夜・葬儀のお焼香時、どの範囲にお辞儀すべきですか？A:喪主だけで十分です。

まずは質問の内容を確かめましょう。私たちは社会で生活していると、身内はもちろん、地域や職場で縁のある様々な方々の死に出会います。このご質問は、葬儀に来てもらう喪主側でなく、親戚などの近親者として葬儀に参列した方が感じた疑問です。葬儀の際にお焼香というのは、まず喪主から始まって家族、そして親戚が案内され、引き続き来賓として、議員や仕事関係・友人が呼び出され、最後にご近所の自治会長などが締めくくります。最後の方のお焼香を俗に止め焼香と言ったりします。最初に喪主とその家族が、四方八方に向かっておじぎをします。これは参列者にご足労かけているから当然なのですが、一度前例が出来てしまうと、他の人たちと違うことをやりにくくなるのが日本人の悲しい^{さが}性です。親戚や近親の参列者なら、直接関わり合いのない来賓などには、ことさらお辞儀する必要はありません。議員さんは仕事柄四方八方にお辞儀するでしょうけど、それ以外の方は、衷心から参列している訳ですから、亡き人と喪主遺族に礼を尽くすことが肝心要になります。

寺ともさん・ごほれ話 先月26日に東本願寺団体参拝に行ってきた。旅の思い出を一つ届けます。今回の

ガイドさんは、「人は見た目で判断してはいけません、自称『星ゆり子』25歳」と言って憚らないベテランガイドさんでした。「バスガイド見てきたようにウソを言い」と冗談で、参加者をリラックスさせてくれて楽しかったですね。次は4月から、高校の音楽科に通い始めた娘の話題です。入学してから後に、結構先輩に当たる方たちに次々出会うご縁がありました。音楽を志す方たちがたくさんいらっやって、大変心強いです。いつか機会がありましたら、未熟な者ですので直々にご指導・ご鞭撻下さいませ。さてさて最後になりましたが、先月はある地域の老人会に招かれて、「元気はつらつ健康講座」と題してお話しさせて頂きました。50人程の方たちがご参加でした。その場で100歳になってもバリバリ活躍する方々の言葉を紹介すると、皆さん大変感銘を受けられたようでした。100年間生きた方に学ぶことは多いです。皆さんこれからも元気で活躍下さい♪

名前：ジョンくん
性別：♂
お年：7歳
種類：ポメラニアン
好物：焼いたパン
苦手：特になし
住所：片山さん宅(高松市)
性格：おとなしいけど、
いやなものはいや。

ご自慢のペットちゃん



@みなさんのご自慢のペットちゃんを募集しています

エピソード：ジョンくんは、かつて血尿が出たことがありました。サツマイモやバナナを食べ過ぎて、尿管かどこかに結石ができてしまったのです。以来、太るとよくないということで、市販のものでなく、動物病院で処方されるドッグフードを食べています。その後は、尿検査に異常もありません。「ジョン」という名前は、今は亡きご主人がつけました。当初はご主人を探していたジョンくんも、亡くなった事が分かったようで今は立派に奥さんを支えています。

FM香川・毎週金曜日ウィークエンドシャトル



FM香川毎週金曜日のウィークエンドシャトルで、桂こけ枝師匠が先月の寺とも「新鮮らくご会」を取り上げて下さいました。というのも、落語を演じた私と升ノ家小珠さんは、師匠の落語教室の生徒だからです。師匠ありがとう！

4/29(金)午後オンエア

おまけ

衣がえの季節になりました。
雨が降って寒くなったり、4.暑くなったり、
急な気温の変化にあわてしまいまおね。
どうかくれぐれもお気を付けて下さいね。☺

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが
087-821-6348へご連絡を。